

## 丸の内仲通り洞道／SUPER TUBE (公社)土木学会「技術賞(Iグループ)」を受賞!

＜周辺環境に配慮した全設備地下化に挑戦したシールド施工＞

丸の内熱供給株式会社は、公益社団法人土木学会が主催する「令和2年度土木学会賞」において、三菱地所株式会社、株式会社三菱地所設計、大成建設株式会社と4社で共同応募した丸の内仲通り洞道建設工事の業績が、「技術賞(Iグループ)」を受賞しましたのでお知らせ致します。

当社は、中長期ビジョン「Beyond DHC! ～脱炭素社会へリードする新しい丸熱へ～」のもと、今後もインフラ事業者としてエリアのBCD※化への貢献、省エネルギーの推進を通じて、街の価値向上をリードしてまいります。

※…BCD (Business Continuity District):業務継続地区

### ■土木学会賞とは

1920年に「土木賞」として創設されて以来、100年近くの伝統に基づく権威ある表彰制度。技術賞Iグループは、具体的なプロジェクトに関して、土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められる計画、設計、施工または維持管理等の画期的な個別技術。(いわゆる「ハード技術」のみならず、情報、マネジメント、ビジネスモデル、制度の導入等の「ソフト技術」についても対象) [http://www.jsce.or.jp/prize/prize\\_list/p2020.shtml](http://www.jsce.or.jp/prize/prize_list/p2020.shtml)



### ■工事概要

本工事は丸の内仲通りの直下に内径3.2m、総施工延長約250mのシールドトンネルを構築した工事です。シールド工事は通常、施工設備や材料ストックヤードを確保して行いますが、丸の内仲通りはビジネスパーソンのみならずショッピングや観光を楽しむ人々であふれているアメニティー空間であることから、「地上に設備を設置しないシールド施工」へ挑戦しました。路上に施工ヤードを設けず、急勾配(最大19.7%)かつ密閉型のシールド工法を実現するためには、従来に縛られない工法が必要とされ、関係者の様々な創意工夫により完成しました。このような事例は皆無に等しく、ますます複雑さを増してゆく都市環境下での同様なシールド工事へ先鞭をつけたことが評価を受けました。



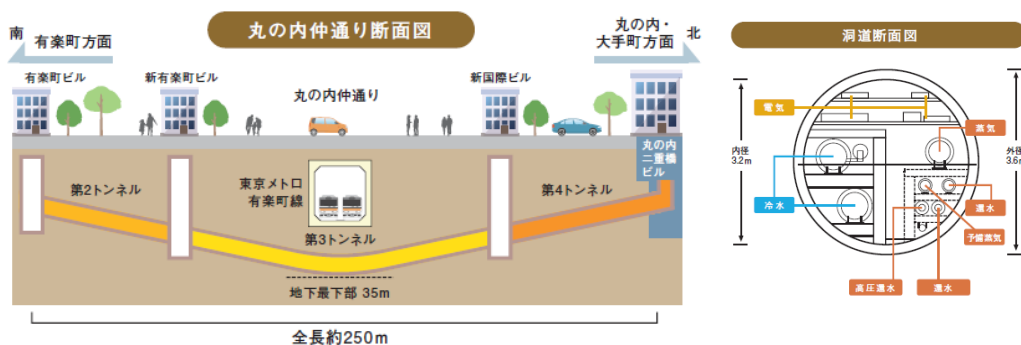
実際に使用したシールドマシン

### ■丸の内仲通り洞道概要

- (1)全長:約250m
- (2)サイズ:外形3.6m 内径3.2m
- (3)洞道内敷設配管:蒸気・冷水・非常用電力自営線・通信ケーブル(予定)
- (4)工期:2015年10月(着工)～2020年12月(竣工)



上/丸の内仲通り 下/洞道内部



SUPER TUBEとは

当社では大丸有エリアの洞道および配管ネットワークを総称して「SUPER TUBE」と名付けました。この「SUPER TUBE」をエリアの強みの一つとして積極的なPR展開をしています。